

# 足元に キラリ みつけた

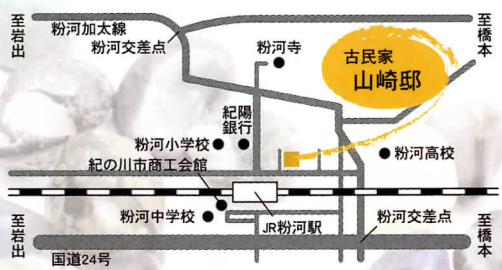


土曜講座

13:30~15:30

築百年の古民家・山崎邸で、農業とふれあう企画や、粉河地域の街おこしの取り組みが始まっています。門前町として栄えた歴史や文化を守りながら地域を発展させたい。そんな想いがエネルギーです。「ふれあい寺子屋」は地域の魅力を再発見する週1回の学びの遊び場です。

【主催】紀の川福祉コミュニティ農園  
【問い合わせ先】麦の郷紀の川・岩出生活支援センター  
☎0736-67-7080  
山崎邸内 創(はじめ)カフェ  
☎0736-60-8233  
☆駐車場が近くにありません。公共交通機関をご利用ください



○このチラシは「農」のある暮らしづくり推進対策の事業に基づき作成しました  
○事業受託：社会福祉法人一委会(麦の郷)

9月6日(金)

「粉河検定があった!」

「京都検定」「奈良検定」は有名ですが、「粉河検定」もあるんです。西国第三番札所、粉河寺の門前町として栄えた粉河はかつて紀北の政治・経済・文化の中心地でした。今も歴史文化遺産が多く残っているこの街を次の世代に残したい。それが検定本誕生のねらいです。語り部育成にも活用されている粉河検定について山田尚司さんがお話しします。



9月13日(金)

「食育でまちも元気に!」

紀の川市は平成22年、近畿で初めて「食育のまち」宣言を行いました。健康バイキングを提供する青州の里や、JA紀の里ファーマーズマーケット「めつけもん広場」などの農産物直売所があり、学校給食への地場産品の積極的活用など、地産地消の取り組みが行われています。生きる力を育む「食育」をすすめよう! 紀の川市食育推進会議の三國和美さんがまちも元気にする「食育」についてお話しします。



9月21日(日)

11:00 ~ 12:00

「障害のある人の防災とまちづくり」

那賀圏域の行政・福祉・保健・医療・教育関係者らでつくる「障害児者自立支援協議会」には県内唯一の「防災部会」があります。作業所の防災マニュアルづくりを支援したり、避難訓練を手伝ったり、自治会との調整をしたり、災害に備えて1歩進んだ活動をしています。「麦の郷紀の川・岩出生活支援センター」の藤本綾子さんが報告します。



※和歌山県建築士会 那賀支部主催の「古民家見学と耐震・防災キャンペーン(10:00~16:00)」と連携して行います。

9月27日(金)

「想いをつないだはっさくプーロ」



紀の川市特産のはっさくを練りこんだ「はっさくプーロ」は、美味しいのに捨てられる小さなはっさくを救おうと、地元商工会女性部のお母さんたちが編み出した手作りの焼き菓子です。10年経って初代のお母さんたちから2代目の若い世代に受け継がれました。

お菓子に託したふるさとへの想いを尾崎三津代さんら母さんたちが語ります。

一枚一枚、心を込めて焼いた自慢の一品です!!



ままプーロのみなさん